

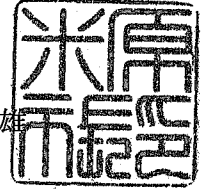


米 建 第 308号

平成20年10月20日

国土交通省
道路局長 様

滋賀県 米原市
市長 平尾 道雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、
別添のとおり提出いたします。

よろしくお取り計らい下さるようお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

滋賀県 米原市

- 急速に進む人口の減少や高齢化率の上昇は、本市にとっても大きな問題であり、特に山間部の集落では、自治会としての機能が維持できないなどの深刻な問題が懸念されています。対策としては、都市住民の移住・交流を行うなどの対策が必要とされていますが、その基盤整備として道路整備事業は必要不可欠です。

こうした集落は、今後も増加することが予想されることから、もっと生活幹線道路ネットワークの形成に力を入れた事業費配分を多くすべきです。

- 国道の渋滞や通過交通の生活道路への混入を解消する対策として、バイパス化が必要ですが、莫大な建設費と途方もない時間を要します。

そこで名神高速道路や北縦自動車道の通行料金の一層の値下げを行い、住民や企業がより高速道路を利用しやすい環境をつくることが重要です。

- 過疎の集落に2車線、歩道付の立派すぎる道路は必要ではありませんが、整備順位を判断するうえにおいて、費用対効果を主眼に置いた事業評価手法で、優先順位を決定することなく、地域実情（防災機能強化や地域特性の活用）を加味することが必要です。

- 国道の高規格道路整備がようやく進み、国道を結ぶ市道整備をこれから行う本市にとっては、地方道路整備臨時交付金をはじめとする道路整備事業費の重点的な配分は今後も必要で、制度の適用なくしては、市道整備計画が成り立たない深刻な事態となります。地方自治を守るため国の責任において現在の補助制度存続を強く要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

滋賀県 米原市

○現 状

- (1) 道路整備の優先度を把握するためアンケート調査の結果、「地震等災害発生時に避難、救援、救急活動を支える道路づくり」や「安全に歩くことができる道路づくり」「安全に走行できる道路づくり」が上位を占め、安心・安全な道路ネットワークの整備を市民は望まれている。
特に市内を走る一般国道8号と21号は交通渋滞が発生し、慢性的に渋滞する国道を避け、生活道路に車輛が進入し、児童や住民の安全が脅かされている。また、積雪時における国道の交通停滞は救急や災害時において、支障を来している。
- (2) 主要地方道山東本巣線は、米原市北部の山間部を通り、県境付近は通行不能であり、また連続雨量 100 mm で通行止めとなる区間が発生し、伊吹以北8集落が孤立する。
- (3) 物流環境に恵まれた地域の特性を活かし、物流コストの削減や環境負荷の低減を実現できる滋賀統合物流センターの整備に着手している。
- (4) 広域農道として整備した道路に国道のバイパスとして、他府県ナンバーの車輛が進入しており、多額の維持管理費用を必要としている。
- (5) 市道延長約 414 km のうち未改良(W=4.0m 未満)の延長は約 184 km で 45% である。
- (6) 市道橋梁数 389 基(うち 15m 以上は 73 基)があるが、老朽化している橋梁が多く、また耐震工事がされていない橋梁が殆どである。

○課 題

- (1) 国道 21 号バイパスの整備を要望するため岐阜県関ヶ原町、垂井町とバイパス建設促進期成同盟会を発足し要望しているが、整備計画が立たない状況である。
また、一般国道8号米原バイパスについて工事着手しているが、早期完成が望まれている。
- (2) 県境付近の通行不能区間の解消を図るため、岐阜県揖斐川町と改修促進期成同盟会を発足し、峠道路のトンネル化を要望しているが、整備計画が立たない状況である。
また、交通規制の解除のため道路改良事業の早期完了を要望するとともに新たな代替路線の構築を図るため、地元協力のもと米原市版道普請事業による災害用緊急避難ルートの整備を図る計画である。
- (3) 自動車輸送から鉄道輸送へ転換する「モーダルシフト」の一大拠点として貨物自動車が集中することから滋賀統合物流センターの機能を十分活かすために交通結節点改善事業の推進を図る必要がある。
- (4) 市としての適正な維持管理が困難な状況となっており、道路利用状況にあった管理区分を必要とすることから県道昇格を要望しているが実現できていない。
- (5) 集落内では、利便性が悪く、緊急車輛が通れないなど防災機能が低い道路が多い。
- (6) 長寿命化修繕計画の策定を行い、修繕(架替)について、計画的に維持管理を行う必要がある。

②-2 地域の目指すべき将来像

滋賀県 米原市

本市の道路整備の基本方針をまとめ、市の目指すべき将来像として整理します。

(1) 地域を連携し活性化する道路網の構築

4町が合併した本市は、旧町ごとに整備が進められていたことから地域間で分断された道路が存在するなど未改良の道路が多く、連携した道路網が形成されていないため地域の連携を促進し、市内の一体性を保持する幹線道路網の整備を進める。

また、各地域間や主要な施設を結ぶ道路の機能強化を図り、都市形成の基軸となる幹線道路の整備を行う。

(2) 円滑な道路交通や安全な道路空間を確保する整備

円滑な道路交通を確保するために幹線市道の整備については、1、2級幹線市道、都市計画道路、旧町からの引継ぎ路線、構想路線を対象に各々の路線が持つ機能を定量的・定性的な評価を行い、整備優先順位を定め、整備が必要な個所から計画的に事業を実施し、市内を連絡する利便性の高い道路の整備を行い、円滑な移動を確保する。

また、生活道路(区内道路)の整備については、自治会からの要望をもとに道路改良系に該当する路線を選定し、道路機能の評価と事業実現性の評価を行い、総合的な判断により整備ランクを定め整備ランクの高い個所から実施する。

生活道路の整備により、交差点部の視距改良や道路の狭小となっている区間の拡幅を行い、円滑な交通処理や緊急車輛等の通行を可能にする。

更には、通学路や歩行者の多い道路では、安全に人と車が通行できるよう歩道の整備を進め、住民が安心して暮らせる道路空間を確保する。

(3) 災害、大雨・大雪に強い道路網の構築

本市は山間部を抱え、V字渓谷となっていることから代替路線がなく、緊急時の輸送道路を確保する必要がある。

そのため、代替路線として地元の取り組みを市が支援する「米原市版道普請事業」による防災用物資輸送・避難緊急道路の整備を図る。

また、市民生活を支える道路として、災害や気候の変化に強い道路整備を行う。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

滋賀県 米原市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
環境にやさしい道路政策	交通結節点改善事業 ・米原貨物ターミナル駅へのアクセス道路	モーダルシフトの実現による物流の効率化、CO2 削減等を目指した環境負荷の低減を図ることができる。	
都市交通の快適性、利便性の向上	国道8号バイパスの整備 ・米原バイパスの早期完成 地方道路整備臨時交付金事業 ・現道拡幅による2車線化	現国道の交通混雑の解消及び歩行者の安全確保を図ることができる。 国道と県道を結ぶ市道を整備することにより利便性を高め市中心部の渋滞緩和を図ることができる。	
地域活力の向上	生活道路(区内道路)の整備 ・集落内の狭小区間の整備や交差点の視距改良（幅員 W=4.0m 以上）	緊急車両が通れる道路の整備及び地域の安全対策を図ることができる。	
災害に強い国土づくり	米原市版道普請事業 ・防災機能を高めるため代替路線を確保する手法として、道路構造令に基づかない道路整備を地元が取り組み市が支援する事業	行政が支援することにより、地元が主体的に取り組み、防災意識を高め、日常生活における安心な道路を確保することができる。	